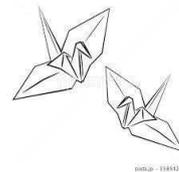


自立貢献

富岡東高等学校 羽ノ浦校通信②

令和6年7月19日

羽ノ浦校教頭 羽坂 直人



高気圧の到来とともにいよいよ夏本番を迎えた今日この頃ですが、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。お子様は7月までの授業や定期試験、臨地実習等を無事終えて、元気に夏休みを迎えようとしています。これも各ご家庭で体調管理をご指導頂いたおかげです。

さて、暖かくなってから新型コロナウイルスやインフルエンザに関して、それほど増加の報告は聞かれなくなりましたが、各病院等ではこれまで同様の感染対策が継続実施されています。夏休み以降も実習等がありますので、学校においても感染対策を引き続き行っておりますが、ご家庭でもご指導よろしくお祈いします。

これからの夏休みから2学期や後期にかけて、お子様が自らの力を自発的に伸ばしていくことができるように、なおいっそうのご協力をお願いいたします。

1. 公開授業及びPTA総会・後援会総会について

5月11日（土）に公開授業及びPTA総会・後援会総会を実施しました。たくさんの保護者の方々に来ていただきました。本当にありがとうございました。

2. 読書の文部科学大臣賞受賞について

優秀実践校として、文部科学大臣賞をいただきました。本の貸し出し状況や、その読書量について、日常の取り組みが評価されました。（現在、職員室入り口に掛けてあります。）

3. 戴帽式について

5月17日（金）に、1・2年生も参加しての戴帽式を実施しました。照明が落とされた厳かな雰囲気の中、中崎校長から白衣姿の一人一人にナースキャップがかぶされました。次に、生徒が自分たちで考えた「誓いの言葉」を唱和し、これからの実習に向けての想いを再確認しました。

4. 学校ホームページについて

今年度も1～3で紹介しました行事やその他行事に関する徳島新聞記事や写真等は、学校ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

5. 夏季休業期間・学校閉庁日・2学期始業式について

- ①夏季休業は7月20日（土）～9月1日（日）です。看護科は、8月28日（水）29日（木）に課題テストがあります。
- ②学校閉庁日は8月13日（火）14日（水）・15日（木）とさせていただきます。
- ③2学期始業式は9月2日（月）です。各自目標を決めて、有意義に過ごしてください。

6. 夏季休業日中の三者面談・学習支援等について

看護科・専攻科の各担任から三者面談のお知らせがありますので、よろしくお祈いします。また、夏季休業日中に就職試験・面接等の対策等も行いますので、ご相談ください。

7. 教頭より 心臓手術体験記（僧帽弁閉鎖不全症弁形成術）

令和6年3月6日の夜中に、ゴポゴポと水に沈む夢と息苦しさで目が覚めました。これは何か変だと、次の日に羽ノ浦校校医の富永先生に診ていただきました。聴診器を当てるなり、「これは間違いない」とおっしゃり、エコー検査に切り替わりました。「左心室僧帽弁の腱が切れて、びらびらしているから、手術が必要です。すぐに日赤に行ってください。」診察30分後には、救急車に乗っていました。私にとっては、先日の日曜日までテニスをしていて、これまでに比べて息が上がるのが早くなったな程度の認識でした。

入院生活の1日は6時半頃から始まります。これくらいの時間になると夜勤の看護師さんが動き出します。大体7時を過ぎる頃に看護師さんがやって来て、計った体重を伝えて、体温、血圧、血中酸素飽和度を計って記録されます。必要な時は採血もされます。基本的に毎日朝と夕方に看護師さんが交代します。日勤の看護師さんが出勤してくると「今日の担当の〇〇です」と病室に来てくれて、その日の検査予定などを教えてくれます。夕方の交代時にも夜勤の看護師さんが挨拶に来てくれます。巡回には電子カルテが入ったノートパソコンを載せたナーシングカートを押して各部屋を周ってきます。こうして看護師さんが交代しても情報共有がスムーズにいくようにされています。入院中は点滴以外に身体にはホルター心電図による24時間モニターが行われます。不整脈のチェック、心電図をモニターするための電極を体にテープで貼り付け、この電極から繋がった小さな検査装置を使用してナースステーションでモニターできるのです。何度か寝ている時に、「外れてます」と看護師さんが確認に来てくれたことがありました。羽ノ浦校の生徒・学生の皆さんも看護師になったら、こんな感じなんだと実感したことを覚えています。

3月21日が手術日に決まりました。手術当日、本人確認のあと、手術室へ向かいました。自動ドアが開くと、広い手術室が広がります。もちろん、本物の手術室は初めてなので、テレビで見た手術室が基準で広いと感じました。それと、手術スタッフがたくさんいました。すぐ横には、人工心肺装置が見えます。麻酔科の先生に促されて手術台に寝ころびます。上からシーツのような布をかぶせられ、「点滴いれますね〜」「麻酔をかけていきますね〜。」うんうんと、うなづいていたらもうそこで終わり、意識がなくなりました。次の瞬間は、耳元で「羽坂さ〜ん、羽坂さ〜ん、聞こえますか〜」の声が…。全身がぐったりと疲れた状態で目が覚め、「安心してください。手術は無事終わりましたよ。」の声に、なんとか「ありがとうございました。お世話になりました。」と返事したことは覚えています。すぐまた意識がなくなりました。その後、目を開けたら見えたのはICU（集中治療室）の天井でした。その頃は酸素マスクを装着していました。口の中がカラカラに乾いています。麻酔から覚めた時に私の体には、たくさんの管やセンサーが繋がっていました。重症患者だなどと再認識したのもこの時です。しかし、手術前の「このまま目が覚めなかったら・・・」というなんとも言えない不安感では無く、「ああ生きてるんだな」という安心感がありました。それから2週間のリハビリが始まりました。

手術を含め、1ヶ月間の入院でしたが、手術チームの先生方、循環器科の看護師や理学療法士の皆さんのおかげで、無事退院することができました。特に、手術後に看護師さんのありがたさが身に染みました。この4月から校務に復帰し、羽ノ浦校の生徒・学生の皆さんが目指している看護師になれるよう、学校業務面でできるだけサポートをしたいと考えています。これからもよろしく申し上げます。

8. 相談等について

進学・就職・学習・健康状態等で何かありましたら、いつでも担任までご相談ください。職員全員でサポートいたします。

それでは、お子様が自らの力を自発的に伸ばしていくことができるように、ご協力をお願いいたします。

富岡東高等学校 羽ノ浦校 TEL0884-44-2054
専攻科直通 TEL0884-44-2678